

(第二時限：八〇分)

二〇二五年度 ② 国 語 問 題

(全 23 ページ)

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二、解答はすべて別紙の解答用紙に記入しなさい。
- 三、解答に字数制限がある場合には、句読点・カッコも一マスとすること。
- 例 である。 し かし、 「 それ は 」
- 四、受験学部・受験方式によって解答すべき問題を指定しているので注意すること。

(注) 受験学部を受験票で十分に確認すること。

全学統一方式（文系）

前期方式

受験学部	解答する問題
法学部	一、二、三
産業社会学部	
国際関係学部	
映像学部	
経営学部	
政策科学部	
総合心理学部	
経済学部	一、二、三 または 一、三、四
スポーツ健康科学部	
食マネジメント学部	
文学部	

受験学部	解答する問題
アジア太平洋学部	一、二、三
国際経営学部	
サステイナビリティ 観光学部	

- 五、マークセンス方式の解答欄は解答用紙の左側にあります。
- 六、マークに際しては、マークした部分を機械が直接読み取って採点するので、左記の注意事項を読み、間違いないようにしなさい。

1、マークする時は、HBの黒鉛筆（シャープペンシルはHBの0.5ミリ以上の芯）を使用すること。

2、解答用紙は折り曲げたり、汚したりしないよう注意すること。

3、だ円は次のように完全に黒くぬりつぶすこと。

(ぬりつぶしがうすい場合は、解答が正しく読み取れないことがあります。)

(1) 解答がひとつの場合（例えば③と解答したい場合）

①

②

③

④

⑤

(2) 解答がふたつの場合（例えば③と⑤と解答したい場合）

①

②

③

④

⑤

4、マークする場合の悪い例（次のようなマークは正解と判定されません。)

①

②

③

④

⑤

○で囲む

①

②

③

④

⑤

✓印をつける

①

②

③

④

⑤

線を引く

①

②

③

④

⑤

ぬりつぶしが不完全

5、一度マークした解答を訂正する場合は、消しゴムで完全に消してからマークし直すこと。

①

②

③

④

⑤

×印をつけても消したことはありません。

七、試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。